



NEWS RELEASE

報道資料
2010年7月22日
(日本時間)

アプライド マテリアルズ エネルギー&エンバイロメンタル ソリューションズ部門の再編を発表

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT、本社 : 米国カリフォルニア州サンタクララ、会長兼 CEO マイケル・スプリンター) は 7 月 21 日 (現地時間)、エネルギー&エンバイロメンタル ソリューションズ (EES) 部門の再編計画を発表しました。同部門は今後、結晶シリコン太陽電池ならびに LED 照明などの先進エネルギー事業に重点を移していきます。この計画が完了すると、営業費用が年換算で少なくとも 1 億ドル削減できる見込みで、2011 年度には EES 部門の黒字化を目指します。

再編の一環として、アプライド マテリアルズは薄膜太陽電池一貫製造ライン SunFab™ の新規顧客への販売を終了し、以後は薄膜太陽電池メーカーに CVD、PVD その他の装置を単体で提供します。薄膜太陽電池パネルの変換効率と成膜の生産性を高める研究開発は、引き続き行っていきます。SunFab をすでに導入しているお客様に対する保守、アップグレード、生産拡大のサポートはアプライド グローバル サービス部門が担当します。中国・西安にあるアプライド マテリアルズのソーラーR&D センターは、結晶シリコン太陽電池その他の技術開発に注力します。

アプライド マテリアルズの会長兼 CEO マイケル・スプリンターは、次のように述べています。「当社は SunFab 製造ラインを通じて大きな技術革新を推進し、当社のテクノロジーロードマップを大きく進展させました。しかし薄膜太陽電池の市場は、ユーティリティースケールでの普及の遅れ、ソーラーパネルメーカーの資金調達難、政府の再生可能エネルギー政策の転換や不透明性、結晶シリコン技術からの競争圧力といった要因からネガティブな影響を受けています。マーク・ピント率いる EES 部門は業界トップクラスの結晶シリコン太陽電池事業に注力するとともに、LED 照明などの先進的なエネルギー技術にかかわる事業機会を追求していきます」

また、建材用 Low-E ガラスのコーティング装置事業からの撤退を検討する一方、電氣的に透明性をコントロールする調光ガラスその他の新技術開発を継続します。

EES リストラクチャリング計画の実施コストは約 3 億 7,500 万～4 億 2,500 万ドル、1 株当たり 0.18～0.21 ドルとなる見通しです。このコストは売上原価、リストラクチャリング費用、資産減損として 2010 年第 3 四半期の連結損益計算書に計上されます。アプライド マテリアルズは税引前費用の一部として、以下を計上する見通しです。(i) 棚卸資産にかかる費用として最大 2 億 4,000 万ドル、(ii) 設備および無形固定資産にかかる減損費用として最大 9,500 万ドル、(iii) 社員の退職手当として最大 5,000 万ドル、(iv) その他の債務として最大 4,000 万ドル。この計画により、全世界で 400～500 人の社員が影響を受ける見通しですが、その一部は社内の他のグループや部署に異動となる場合もあります。これらの費用に関連した現金支出は 8,000 万ドルを超えない見通しです。この EES リストラクチャリング計画に伴う費用に加え、アプライド マテリアルズが 2009 年 11 月 11 日に発表したリストラクチャリング計画の費用については、ビジネス要求の改善に伴い約 2,000 万ドルの下方修正を行います。

2010 会計年度第 3 四半期の事業見通しを修正

アプライド マテリアルズは今年の 5 月に、2010 会計年度第 3 四半期の非 GAAP ベースの 1 株当たり利益 (EPS) 目標値を 0.22～0.26 ドルと発表しましたが、これにはリストラクチャリング費用は一切含まれていませんでした。修正された非 GAAP ベースの目標値は 0.10～0.14 ドルとなり、本日の措置に関連した棚卸資産の費用およびその他の債務による 1 株当たり約 0.14 ドルのマイナスがなければ、元の目標の上端に近い数字になります。

EES のリストラクチャリングに関するマイケル・スプリンターのビデオコメントは、アプライド マテリアルズのブログ (Blog: <http://bit.ly/boKnz1>) でご覧いただけます。

セーフハーバー条項に基づく注意事項

本プレスリリースには、EES 再編計画の規模、コスト、時期、結果に関する予想、アプライド マテリアルズの事業見通しと機会ならびに 2010 年度第 3 四半期目標値、その他将来の見通しに関する記述が含まれています。こうした記述はすべて本プレスリリース発表時点における経営陣の推定、予測、仮定に基づくもので、記述にはその前提をなす仮定も含まれています。こうした記述は既知または未知のリスクおよび不確定要素に左右されるため、実際の結果はこうした記述が明示ないし暗示する帰結と大きく異なる場合があります。このようなリスクや不確定要素としては、①グローバルな経済・業界環境の変動、②当社が計画をそのまま遂行して期待どおりの結果を得る能力 (顧客の要請、事業環境や経営ニーズの変化、事業買収または売却、主要社員の引き留め、米国および海外の労働・雇用法、遅延、コスト増などの影響を受ける)、③将来の財務成績を正確に予測する能力、④その他、

当社が証券取引委員会（SEC）に提出する書類に記載しているリスクなどがあります。アプライド マテリアルズは将来の見通しに関する記述を更新する義務を負っておりません。

アプライド マテリアルズは、半導体チップ、フラットパネル、太陽電池、フレキシブルエレクトロニクス、省エネガラスの製造におけるイノベーターな装置、サービスおよびソフトウェア製品を幅広く提供する Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーです。アプライド マテリアルズは、人々のライフスタイルを向上させるナノマニュファクチャリングテクノロジーを提供します。

詳しい情報はホームページ：<http://www.appliedmaterials.com> でもご覧いただけます。

このリリースは 7 月 21 日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:渡辺徹)は 1979 年 10 月に設立。京都支店ほか 10 のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社

社長室: 大橋 百合 (Tel: 03-6812-6801)

ホームページ: <http://www.appliedmaterials.com>
